

## 7/11韓国原州市のNPO交流団と交流しました！

7月17日(木)、韓国原州市からNPO交流団14名の方が、地方自治、市民参加、NPO活動などについて市民レベルで交流するために、市民公益活動サポートセンターにられました。

高槻側からは、たかつき市民活動ネットワーク役員4名、市民公益活動サポートセンター管理運営委員会役員2名、橋本市会議員、高槻市6名が出席し、高槻市における市民公益活動推進のあゆみ、サポートセンターの管理運営、NPO活動の事例紹介のあと、自由な意見交換を行いました。

初めての国際交流で、言葉の壁もありましたが、率直な意見交換をすることができました。お互いに、質問に答えることでより深く考える機会になりました。

原州市は、ソウルから東へ列車で1時間半の位置にある歴史のある都市。面積868平方km、人口28万人。急速に都市化しており、10年以内に人口が40万人前後になると予想されている。



## 交流会に参加して

萩原義明

韓国市民NPO奉仕活動について幾らかの知識がありましたが、今回の交流団について情報資料がなく大変興味を持って参加しました。

NPO事例紹介の1つとして、NALC高槻・島本の高齢者、障害者介護支援、地域奉仕協力活動、有償ボランティアについて説明する機会を与えられ感謝します。

日本側より各ボランティア活動の説明が行われました。韓国NPO市民活動は反政府民主化活動が根底にあります。社会団体振興法に登録することにより、政府や地方自治体からの各種プロジェクトに参加資格を得られ、経済的支援があるようです。自主的、自立的、自発的、自由意思を原点とする日本のボランティア活動とは根本的に異なることがよく分かりました。

交流団の中に女性奉仕活動家がおらず、韓国では歴史、風習、風土、生活習慣から女性の活躍が限られているようです。男性中心の社会的背景のなかで、日韓のNPO市民奉仕活動の交流を今後推進するには、お互いに国情を尊重しながら、共に理解し合い、助け合い、協力する姿勢が大事であることを痛感した交流会でした。

# 交流部会から

(2)

担当 山下征紀

## \* 交流部会の役割

今年度より高槻市民活動ネットワーク(以下ネットワーク)の下部機能として交流部会が発足いたしました。ネットワークの中で、どんな働きをしたら良いのか。まず、現段階では、構成する会員が自己表現できる場面をできるだけ多く設定することだ、と思っています。

ネットワークの目的と事業を推進するためには、会員同士のフランクな討議を触媒として、事業内容のインフラを創るエネルギーにしていくことと考えております。

## \* 交流会パート(Ⅰ)(Ⅱ)の実施

総会後引き続き行ったパート(Ⅰ)では、ダイヤモンドシートを使って、市民活動やネットワークに対する思いや考えを、自己表現していただく場面をつくりました。

パート(Ⅱ)ではパート(Ⅰ)での重要センテンスを概念化した図解を使用して討議を行い、おおよその問題整理が出きた所です。

パート(Ⅱ)の討議では、交流部会のあり方についてのヒントをいただきましたが、それ以上にネットワークの存在意識を問う本質的な内容も含まれています。やはり“3人(以上)寄れば文殊”なのでしょう。大雨の中をご参加いただいた方にお礼申しあげます。「価値は討議を深めることにより創造できる」貴重な体験でした。

## \* 交流部会の期待

パート(Ⅱ)の討議から3つの方向が整理されつつあります。近々、理事会で内容を検討し会員のみなさまへ発信できると思います。概略は以下のようなものです。

- ・交流サロンとして、テーマ別グループの発足
- ・ホームページやメーリングリストを活用した交流
- ・会員同士の懇親会

最もカを入れたいのは、緩やかな交流サロンのスタートでしょう。それだけに、知恵と工夫が必要でしょう。みなさんのご意見・情報が是非とも欲しい所です。会員の皆さんが、全員どこかのサロンに所属して、活発な交流を繰り返して行く中から、グループ間がクロスネット化され、その勢いが市内外の他の活動団体へワーキングとして広がっていくことが期待されます。ネットワークの土づくりといった所でしょうか。

| “ネットワーク会員募集中”                    |      |        |        |
|----------------------------------|------|--------|--------|
| '年会費                             | 正会員  | (個人)一口 | 3000円  |
|                                  |      | (団体)一口 | 5000円  |
|                                  | 賛助会員 | (個人)一口 | 2000円  |
|                                  |      | (団体)一口 | 10000円 |
| 私たちの活動に賛同していただける方々の入会をお待ちしております。 |      |        |        |



# 研修部会から

(3)

担当 遠矢家永子

2003 年度研修部会では、①「市民公益活動・中間支援組織を考える」②「高槻で活動している市民活動団体から学ぶ」③「行政との協働を考える」の3つのテーマを柱に研修会を企画しました。

① 公益活動や中間組織についての定義づけや、民間組織である「たかつき市民活動ネットワーク」と公設である「高槻市市民公益活動サポートセンター」の位置づけや顧客の違い、各々の強みは何かなど基本的な学びの場を提供することで、共通認識を作り出すことを目的に3回(7/8・26・8/7)にわたる学習会を開催しています。アドバイザーとして市民活動促進懇話会の頃からお世話になっている川畑恵子さん(如月オフィス)をお招きし、客観的なアドバイスもいただきながら充実した研修会となっています。組織として活動を共にする時、各人の目的意識や役割意識などにズレがある場合、成果が半減するばかりかいらぬ対立が生じてしまうことさえあります。今回のこの研修会での学びを学びだけに終わらせず、実践の場に役立てていただければと思います。

② 高槻市で活動している NPO 法人を取得している団体をお招きして、それぞれの具体的な活動のお話をお聞かせいただく中で、市民公益活動への理解を深め相互にネットワークを広げていくことを目的に研修会を開催いたします。これを機会に、できればネットワークの会員に加わっていただき、①の2回目の研修会グループワークで発表されたようにネットワークの登録団体を増やすことで、市への影響力のある組織に成長し今後提言などもしていければいいなど個人的には思っております。

③ これからの市民参画及び NPO と行政との協働によるまちづくりについて、イメージを具体化していくために、まずは行政職員の方と顔の見える信頼関係を築くことを目的に、高槻市行政職員の方をお招きして研修会を実施していきます。第1弾として8月20日(水)、今年度内閣府より来られた樋渡市長公室長をお招きする予定です。NPOに関する海外や国の動向・特区構想など、私たちのあまり知らない情報をまずはお聞かせいただこうと思っています。今回は勤務時間外に1市民としてお招きしています。なかなかユニークな方なので、私も当日楽しみにしています。

いずれの研修会についても、別紙案内をご覧ください。

2月には研修部会の枠を超え、市と共催での②の延長線上のイベントも構想中です。なんだかいつの間にか盛りだくさんの研修部会です。共に学ぼう、どこまでも!みなさんの参加・参画を心待ちにしています。

## 2003年5月～7月までの主な活動

- 5月 1 02年度第12回理事会  
 20 02年度第13回理事会  
 25 03年度通常総会および第1回会員交流会
- 6月 2 03年度第1回理事会  
 28 第2回会員交流会(その1)
- 7月 5 第2回会員交流会(その2)  
 8 第1回基礎研修会「市民公益活動・中間支援組織とは何か」  
 17 韓国原州市 NPO 交流団との交流会  
 26 03年度第2回理事会  
 03年度サポートセンター管理運営委員会総会  
 第2回基礎研修会「ネットワークとセンターの目的・役割」  
 29 「すいた市民活動を活発にする会」との交流会

### 今後の予定

- 8/7 第3回基礎研修会 8/20 行政から学ぶ研修会(1) 8/26 第3回理事会  
 9/26 NPO から学ぶ研修会(1)

## サポートセンターからのお知らせ

### ☆これからの予定

- 8月役員会、スタッフ会議、スタッフ勉強会(2回)、市民公益活動ハンドブック配布  
 9月役員会、スタッフ会議、スタッフ勉強会(2回)  
 10月役員会、スタッフ会議、スタッフ勉強会(2回)

- ◆ 中間支援が出来るように頑張っています。
- ◆ センターのご利用をお待ちしています。
- ◆ ホームページ作りの仲介をしました。
- ◆ 運営委員会総会で今年度方針が決まりました。役員会で具体化していきます。
- ◆ コピー機、印刷機、紙折り機、製本機、ロッカーなど備品が揃いました。  
ご利用をお待ちしています。

### ☆サポートセンター利用者数

| 3月 | 4月 | 5月 | 6月  | 7月  |
|----|----|----|-----|-----|
| 9  | 36 | 96 | 255 | 315 |

### 編集後記

今回、新たなボランティア編集スタッフ5名が議論を重ねて作成し、ネットワーク作りの輪が大きく広がってほしいという願いと共に皆さんへとお届けします。